

みんなで楽しくボッチャ交流

教育課程上の位置付 総合的な学習の時間

実施概要

高齢者施設訪問による活動は、今回が初めてです。高等部2年生3人と3年生1人の計4人が施設を訪問し、4階の集会室でボッチャによる交流を行いました。生徒によるボッチャのルール説明の後、生徒4人と利用者18人が半数ずつ分かれ、混合の赤チームと青チームを作って、対抗戦でミニ試合を行いました。

その後、利用者の輪の中に入った生徒が、自分の身近なことを択一式のクイズを中心にお話し交流を行いました。

活動参加者 当校生徒…4人 担当教員…5人
内訳 交流先 利用者…18人 担当職員…3人

交通手段 当校と友愛ホームとの距離はおおよそ4km
学校のバスで訪問 約10分



白のジャックボールをめがけて“そーれっ!”

活動報告 実施日：10月23日(火)

始めに、生徒によるボッチャのルール説明の後、利用者全員がジャックボールに向けてボールを投げる練習をしました。

その後、生徒も加わり、赤チームと青チームに分かれて対抗戦を行いました。初めは勝手が分からなかった利用者も、生徒の助言を受けながら徐々に理解した様子で、次に投げる利用者にはアドバイスをする姿も見られました。4回のゲームの結果、勝ったチームの利用者から歓声が上がると、会場は笑顔に包まれました。

ゲームの後は、全員が輪になって、学校の特色や自分の好みなどを生徒が択一式でクイズを出しました。生徒の「好きな国」のクイズでは、利用者の一人がよく知る国で、会話に花が咲くなど、笑顔あふれる交流となりました。

当日のスケジュール

- 9:30 学校、施設・団体、SSC、都教委4者事前打合せ(4階スタッフ控え室)
- 9:50 会場セッティング(教職員・施設職員)
利用者・生徒 会場集合
- 10:00 「みんなで楽しくボッチャ交流」開始
・あいさつ(友愛ホーム代表・生徒代表)
・ボッチャのルール説明(生徒代表)
・利用者の体験練習(ボールを投げる体験)
- 10:20 赤チームと青チームに分かれてミニ試合
(対抗戦方式で4ゲームを実施)
- 10:40 お話し交流(一つの輪になって、択一式のクイズ形式で実施)
・生徒の趣味や好きな食べ物などをテーマに利用者へクイズを出して、交流
- 10:55 閉会のあいさつ(生徒代表・友愛ホーム代表)
- 11:00 生徒・教職員 施設を出発

■活動のために準備したもの

- ・ボッチャの対戦表、司会原稿、クイズの問題用紙(作成物)
- ・ボッチャのボール(白・赤・青)、ボッチャの投球用補助具、赤・青・黒のマジック

■工夫したところ

- ・利用者の方と本校の生徒が共通の話題にしやすいことをクイズ形式にして和やかな雰囲気の中で交流ができるように工夫しました。
- ・新設校であるので、どのような生徒が在籍し、通っている学校かについて最初に説明を行い、学校のことを知ってもらうようにしました。

■実施にあたって注意したところ

- ・生徒の利用者の方に対する言葉遣いや司会原稿の中に人権上問題のあるような言葉がないように気を付けました。
- ・生徒が交流の主体であり、教職員が前面に出すぎないように注意しました。

■良かったと思うところ

- ・生徒と利用者の方が様々な話題で盛り上がり、楽しい雰囲気の中で交流が進められました。
- ・生徒にとって、将来の社会自立に向け自己肯定感や自己有用感が高まった面は大変有意義でした。

■今後に向けての学校からの抱負

本校と高齢者施設の方との交流を今後も拡大しより良いものに進めていくにあたり、交流内容及び参加する生徒の教育部門、居住地区、進路選択等と関連しながら、多くの施設と交流する可能性を検討していきたいと思っております。

当校は、肢体不自由教育部門(小学部・中学部・高等部)と病弱教育部門(小学部・中学部・高等部)を設置する特別支援学校です。日本初の公立肢体不自由教育校「東京市立光明学校」と日本初の都道府県立健康学園「東京府立久留米学園」の両母体校が発展的に統合して2年目で、学園生の自立と豊かな社会参加を目指しています。社会貢献活動は、エコキャップ推進活動や近隣住民、保護者、卒業生他を招いて夏祭りなどを行っています。

活動の感想

生徒・教員の感想

生徒

- ・点数を付けると自分自身は100点満点でした。他の生徒も同様です。
- ・利用者の方々が皆さん楽しそうでした。
- ・この施設を一度見学したことがあるので、今日の体験は楽しかったです。

教員

初めての実践事業であり、短い時間の中で十分な交流ができるだろうかという不安もありました。しかし、人生経験を重ねた利用者の方々の優しい配慮もあり、生徒たちは楽しく交流することができました。核家族化が進む日本でこうした世代間交流は素晴らしいと感じました。

施設の参加利用者・担当者の感想

利用者

- ・子供たちに笑顔とエネルギーをもらいました。
- ・子供たちがとても元気で、また来てほしいです。
- ・うれしくて生徒と握手しました。学校へも行ってみたいです。

園長

今回は、「特別支援学校における社会貢献活動モデル事業」に参画をさせていただきありがとうございました。当日は、高等部の4名の生徒さんに来所いただき、初めてのボッチャの体験に始まり、生徒さんから出題されるクイズに回答しているうちに、だんだんと会話も増え、終わるころには、もう少し時間があつたらという利用者さんの声も聞けました。日頃、単独での外出も困難な方もおられるので、大変楽しい時間を過ごさせていただき感謝を申し上げます。

■実施までの経過 ※ (コ)：コーディネーター

- 6月27日 (コ)、当校にて校長、副校長、主幹教諭と打合せ
- 7月5日 (コ)、施設を訪問。園長及び養護部長に趣旨を説明
- 8月1日 (コ)、施設を訪問。園長快諾。会場を見学。当校にて活動内容打合せ
- 9月19日 (コ)、副校長、担当教員と施設を訪問。活動内容、当日の対応について最終打合せ



緊張しながらボッチャのルール説明



生徒の通学区は7生徒のクイズに考え込む

交流先



社会福祉法人 友愛十字会

友愛ホーム

住所：東京都世田谷区砧3丁目9番11号

■施設概要

養護老人ホーム 定員70名